

相模湖 地区小・中学校の学習環境のあり方 検討協議会ニュース

Vol.2

相模湖で考えていかなければならないこと

令和6年1月22日（月）に、第2回の検討協議会を開催しました。第2回では、「望ましい学習環境のあり方意見交換会」※がまとめた「報告書」の内容について、検討協議会として共有し、「なぜ、今、学習環境について考えるのか」、その意義を再確認しました。合わせて「意見交換会報告書」の中で示された「登下校」や「児童生徒の数」、また「放課後の居場所」といった学習環境に関する課題を確認し、委員一人一人の考えを話しました。



【第2回検討協議会の様子】

「意見交換会報告書」から見える課題



「意見交換会報告書」からは、主に次の3つの課題が確認されました。検討協議会では、これらの課題をどのようにして解決していくか、今後、アイデアを出し合いながら検討を進めていきます。

「登下校」 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 通学距離が長い（保護者の送迎等が必要な地域がある） ▶ 通学環境への不安（歩道が狭い、人通り・民家が少ない、暗い、危険箇所） ▶ 一人での下校（同じ方面に一緒に帰る子がいない）
「児童生徒数」 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ クラス替えができない ▶ 新しい環境や大きな集団への適応に関する不安 ▶ クラブ・部活動の選択肢、合唱や運動会などの規模
「放課後の 居場所」 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ （児童クラブ等に入れない子ども達の） 下校後の遊び場、放課後の居場所がない

※ 相模湖地区の児童クラブでは、令和6年度からモデル事業として「小学校6年生までの受入れ拡大」を実施予定

※ 「望ましい学習環境のあり方意見交換会」とは

- ・「学習環境のあり方検討協議会」の前身の組織。
- ・「相模湖地区まちづくり会議子ども・若もの専門部会」を中心に、相模湖への「移住定住」を重点目標として、独自の取組みを推進。
- ・保護者アンケートを実施し、登下校や放課後の居場所など学習環境に関する地域課題に向き合い、検討を進めた。
- ・この意見交換の結果は「報告書」として教育委員会に提出され、その報告書を踏まえ、「検討協議会」が設置された。

第2回検討協議会での主な意見



目の前の子ども達が、通学で不安だとか、一人で帰っているだとか、これは命にも関わることで、そういった状況について話し合おう、そして、少しでも相模湖の子ども達の環境が良くなるよう議論していこうというのが、この会の役割だと思う。



（報告書を読むと）現在の学習環境に対して不安を抱いている保護者の方もいらっしゃる。そういう方を補助するための取組みや検討を行うことが、我々に出来ることの一つ。

※ 検討協議会の議事録や資料は、次の場所でご覧いただけます。
 @ 相模湖行政資料コーナー（相模湖総合事務所2階）
 @ 相模湖・千木良公民館 @ 相模湖地区の各小・中学校



事務局（お問合せ先）

相模原市教育委員会 教育局 学務課

電話 042-769-8282（直通）